

協機工業股份有限公司 CSRレポート

事業内容: 低圧および高圧ゴムホース、コンパウンドマスターバッチ(CMB)の生産・販売

敷地面積: 30,464m²

従業員数: 132人(2011年6月現在)

所在地: 中歴工場: 桃園縣中歴市中歴工業区99號 台湾

苗栗工場: 苗栗縣銅鑼鄉中興路91號 台湾

相談・苦情などの受付窓口:

管理部管理営業課 TEL: +886-3-451-4015 FAX: +886-3-451-2969

メールアドレス: sci99@ms11.hinet.net



社長ご挨拶



松元 剛

協機工業は、1979年に創業し、1990年から横浜ゴムとの合併会社として横浜ゴムグループの一員となりました。台湾国内に2工場を持ち低圧および高圧ゴムホースとコンパウンドマスターバッチを生産・販売しています。当社は環境と安全を経営の重要な柱として、2001年にISO14001の認証を取得し、地域の一員として環境負荷低減のために活動を行ってきました。具体的な活動として生産ではホースを造るために必要なマンドレル(芯

体)、加硫時の被覆材(モールド)といった補助材料のリサイクル回数増加の推進、ハード、ソフト両面での設備改善によるエネルギー効率アップを実施してきました。2007年には、労働安全衛生の管理システムであるOHSAS18001も取得して、品質面でのISO9001を加えた3つのマネジメントシステムを活用して、全員参加により地球に優しい製品を造り、横浜ゴムのGD100のスローガンである「トップレベルの環境貢献企業」になるために努力を続けています。

環境経営の推進

環境方針

- (1) 全員の参加と努力で環境汚染予防活動を行う。
- (2) 環境管理システムにより環境汚染を防止する。
- (3) 法律に従い規制の要求値を守り改善を行う。
- (4) 6S活動を実行して環境整備を進める。
- (5) 環境に貢献する商品開発を行う。

化学物質の管理状況

台湾政府へ化学物質の届出を実施し、受理されました。

(2011年5月11日付け堤報完成通知書受領)

騒音、振動、臭気について

環境局より非定期に立ち入り検査を受けましたが、指摘事項を受けていません。

環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	
廃棄物発生量(t)	247	185	209	
埋立率(%)	36.9	13.2	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	1,176	574	1,023
	燃料	205	142	234
	合計	1,381	716	1,257
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	2.7	1.6	2.9	
水使用量(千m ³)	9.1	6.9	7.6	

※年度: 1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。



安全方針

- (1) 全員参加と努力で労働災害予防活動を行う。
- (2) 安全管理システムにより労働災害発生を防止する。
- (3) 法律に従い規制の要求値を守り改善を行う。

従業員の教育・訓練

教育訓練計画に基づき、各種教育・訓練を実施します。
地震・火災教育および消防訓練を実施しています。



取引先との信頼関係

汚職に関する方針

法令、習慣および社会倫理を遵守します。



ステークホルダーコミュニケーション

地域社会とのかかわり

- (1) 苗栗縣の工場近隣小学校に、苗を280本寄付しました。
- (2) 毎年1月に工場から工業区の中にある廟までの道路を従業員全員で清掃しています。

(3) 毎月1回工場の前の道路を清掃しています。

(4) 2009年度から年に1回、苗栗縣が主催する地域美化活動である海岸の清掃活動に中歴工場、苗栗工場から参加しています。

